

# 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

## 事業名 県立社会福祉施設設備等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111 (内3494)

E-mail： c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 171,984 千円 (前年度予算額： 60,516 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	60,516	0	0	0	0	0	0	43,000	17,516
要求額	171,984	0	0	0	0	0	0	141,400	30,584
決定額	12,331	0	0	0	0	0	0	10,800	1,531

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

老朽化が進む県立障がい福祉施設及び県立障がい者スポーツ施設の営繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

### (2) 事業内容

県立社会福祉施設及び県立障がい者スポーツ施設の営繕工事 (実施設計及び改修工事) を実施し、施設利用者の安全性と利便性の向上を図る。

#### 【長寿命化計画改修工事】

- みどり荘管理棟等便所及び配管改修工事 79,375千円
  - ・令和2年度から継続要求中。R2に実施設計済。
  - ・施設建築から44年を経過し老朽化が著しいため改修する。
  - ・UD (便所の洋式化) 化工事も同時に行う。(UD予算にて要求)
- 陽光園照明器具改修工事 33,503千円
  - ・令和元年度から継続要求中。R1に実施設計済。
  - ・施設建築から49年を経過し老朽化が著しいため改修する。
- 幸報苑熱源交換工事 18,344千円
  - ・令和7年度から継続要求中。
  - ・前回更新から16年を経過し、中長期計画上の更新時期となるため更新する。
- 陽光園外壁改修工事 9,906千円※R8は設計のみ
  - ・R7年度から継続要求中
  - ・前回改修から16年を経過し、改修サイクルを迎えたため、改修をする。

- サニーヒルズみずなみ給排水設備等改修工事 5,269千円※R 8は設計のみ
  - ・ R 7年度から継続要求中
  - ・ 設置から36年が経過し、改修サイクルを迎えたため、改修をする。
- みどり荘LED照明改修工事 1,837千円※R 8は設計のみ
  - ・ R 5年度から継続要求中
  - ・ 施設建築から44年を経過し老朽化が著しいため改修をする。
- はなの木苑空調設備改修工事 5,636千円※R 8は設計のみ
  - ・ R 7年度から継続要求中
  - ・ 設置から25年が経過し、改修サイクルを迎えたため改修する。
- 三光園照明設備改修工事 4,382千円※R 8は設計のみ
  - ・ R 8当初新規工事
  - ・ 施設建築から44年を経過し老朽化が著しいため改修する。

【長寿命化計画外（劣化改修）工事】※管財課の庁舎営繕予算で対応不可のもの。

- 三光園給湯用無圧ヒーター更新工事 12,331千円
  - ・ 設置から44年が経過し、劣化が著しいため改修する。
- 福祉友愛プール1階女子トイレ扉改修工事 1,401千円
  - ・ 利用者の利便性向上のため、個室扉を引き戸から折れ戸に改修する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県補助率 10 / 10（予定施設は全て県立施設であるため、県負担は妥当）

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	151	改修工事現場への出張旅費
使用料	67	出張に係る高速代
需用費	779	消耗品費478千円・燃料費301千円
役務費	369	郵送費・通信費
委託料	33,621	改修工事の設計委託料・工事監理委託料
工事請負費	136,997	改修工事の請負費
合計	171,984	

### 決定額の考え方

実施の緊急性を精査し、所要額を計上します。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化が進む県立障がい福祉施設の大規模な営繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	終期目標	
					達成率	
① 実施が必要な大規模営繕工事の年度実施件数	-	6	2	1	/	
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陽光園屋上防水改修工事・ガスボイラー改修工事</li> <li>・ 三光園空調設備改修工事</li> <li>・ ひまわりの丘第一学園・第二学園（機械等屋上外壁改修・空調設備改修）</li> <li>・ はなの木苑居室棟屋上防水改修</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はなの木苑自動火災報知設備等改修工事の設計</li> <li>・ みどり荘自動火災報知設備等改修工事の設計</li> </ul>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はなの木苑自動火災報知設備等改修工事</li> </ul>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 2	施設利用者の安心・安全な生活環境を確保するため、営繕工事の実施が必要となる。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	これまでの営繕工事により、施設利用者の安全・安心な生活環境の実現が図られた。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	営繕工事の実施検討にあたっては、庁内関係課と現地調査を行い、適切で効率的な実施方法を適用している。

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県立障がい福祉施設は多くの施設で老朽化が進んでおり、今後も新たな営繕工事が必要となる。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 必要な営繕工事について、計画的な実施を図る。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】